

公益財団法人 北海道青少年育成協会 令和7年度事業報告
(令和7年4月1日から令和8年3月31日まで)

I 当法人の概況

1 役員等に関する事項

(1) 理事及び監事に関する事項

理 事

定 数 9人以上13人以内（会長、副会長及び専務理事を含む）

任 期 選任後2年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する
 定時評議員会の終結の時まで

現在数 常勤1人、非常勤9人、計10人

監 事

定 数 2人

任 期 選任後4年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する
 定時評議員会の終結の時まで

現在数 常勤なし、非常勤2人、計2人

(令和8年3月31日現在)

職 名	氏 名	任期	常勤 非常勤	報酬等	所属
会 長	山 谷 吉 宏	R 7 . 6 . 16～ 令和9年度定時評議員 会終結の時まで	非常勤	なし	北海道森と緑の会 理事長
副会長	山 谷 敬 三 郎	〃	〃	〃	北翔大学 理事長
理 事	松 田 淳 二	〃	〃	〃	北海道中学校長会 対策部幹事
〃	城 野 文 久	〃	〃	〃	北海道PTA連合会 事務局長
〃	渡 部 正 樹	〃	〃	〃	北海道商工会連合会 事務局長
〃	赤 木 国 香	〃	〃	〃	北海道新聞社 みらい教育推進室 室次長
〃	早 川 日 出 利	〃	〃	〃	苫前町子ども育成連絡 協議会 会長

職 名	氏 名	任 期	常勤 非常勤	報酬等	所 属
理 事	伊 藤 美 由 紀	R 7 . 6 . 16～ 令和 9 年度定時評議員 会終結の時まで	非常勤	なし	こども・コムステーショ ンいしかり 会長
〃	和 田 護	〃	〃	〃	札幌市 東区青少年育成委員会 連絡協議会 議長
専務理事	東 田 俊 和	〃	常勤	〃	北海道青少年育成協会 事務局長
監 事	川 村 美 栄 子	R 7 . 6 . 16～ 令和11年度定時評議員会 終結の時まで	非常勤	〃	税理士
〃	酒 元 辰 也	〃	〃	〃	北海道歴史文化財団 代表理事

(2) 評議員に関する事項

定 数 9 人以上 13 人以内

任 期 選任後 4 年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する
定時評議員会の終結の時まで

現在数 常勤なし、非常勤 9 人、計 9 人

(令和 8 年 3 月 31 日現在)

職 名	氏 名	任 期	常勤 非常勤	報酬等	所 属
評議員	俵 英 生	R 7 . 6 . 16～ 令和11年度定時評議員会 終結の時まで	非常勤	なし	北海道高等学校長協会
〃	田 邊 芳 明	〃	〃	〃	北海道小学校長会 会計理事
〃	出 井 浩 義	〃	〃	〃	北海道市長会 事務局長
〃	熊 谷 裕 志	〃	〃	〃	北海道町村会 事務局長
〃	坂 下 拓 哉	〃	〃	〃	北海道子ども会育成連合会 常務理事兼事務局長

職 名	氏 名	任 期	常 勤 非常勤	報酬等	所 属
評議員	野 内 吉 徳	R 7 . 6 . 16～ 令和11年度定時評議員会 終結の時まで	非常勤	なし	日本ボーイスカウト 北海道連盟 常任理事
〃	佐 藤 隆 久	〃	〃	〃	北海道社会福祉協議会 常務理事
〃	時 田 昭 子	〃	〃	〃	北海道女性団体連絡協議会 常任理事
〃	大 橋 俊 忠	〃	〃	〃	北海道経済連合会 理事 事務局長

2 賛助会員に関する事項

(令和8年3月31日現在)

種 類		当年度	前年度	増 減
普通賛助会員	個人	4 8	4 7	△ 1
	青少年育成関係団体	5 1	5 1	0
特別賛助会員	市町村	1 3 2	1 3 3	△ 1
	法人	9	9	0
合 計		2 4 0	2 4 0	0

3 職員に関する事項

現在数 6 名

(令和8年3月31日現在)

役 職	氏 名	常 勤・非常勤の別
事務局次長	辻 堅也	常 勤
主 査	竹本 郁子	〃
主 査	福田 拓哉	〃
専門指導員	山田 聡	〃
地域活動支援員	齋藤 博美	〃
地域活動支援員	柴田 幹	〃

Ⅱ 事業に関する事項

1 令和7年度事業の実施状況

別添のとおり

2 役員会等に関する事項

(1) 理事会

開催年月日	決議事項	結果
令和7年5月27日 (書面理事会)	① 令和6年度 事業報告について ② 令和6年度 決算について (監査報告) ③ 評議員会の開催及び目的である事項について ・ 理事の改選について ・ 監事の改選について ・ 評議員の改選について	承認 承認 承認
令和7年6月16日 (書面理事会)	① 会長の再任について ② 副会長の再任について ③ 専務理事の選任について	承認 承認 承認
令和8年2月20日	① 評議員会の開催及び目的である事項について ・ 定款の変更について ・ 諸規程の改正について	承認
令和8年3月24日	① 令和8年度 事業計画 (案) について ② 令和8年度 予算 (案) について ③ 令和8年度 資金調達及び設備投資の見込みについて ④ 令和8年度 資金管理運用執行方針及び計画 (案) について ⑤ 諸規程の一部改正について	承認 承認 承認 承認 承認

(2) 評議員会

開催年月日	決議事項	結果
令和7年6月16日	① 令和6年度決算について (監査報告) ② 理事の改選について ③ 監事の改選について ④ 評議員の改選について	承認 承認 承認 承認
令和8年2月27日 (書面評議員会)	① 定款の変更について ② 諸規程の改正について	承認 承認

(3) 基金管理運営委員会

開催年月日	内 容
令和7年7月30日	① 令和7年度 こども・若者応援顕彰の決定について ② 令和7年度 こども・若者応援交付金交付団体の決定について
令和8年3月31日 (書面委員会)	① 令和8年度 北海道青少年応援基金事業について 交付要綱等の改正

3 所管庁への届出事項

届出年月日	届出事項
令和7年6月20日	令和6年度 事業状況報告等の提出
令和7年7月4日	理事・評議員変更の届出
令和8年3月26日	令和8年度 事業計画等の提出

4 行政機関から受けた監督上の処分又は指導に関する事項

検査年月日	検査内容	処分または指導
令和7年4月15日	令和6年度補助金事業実績報告に係る現地調査 (北海道環境生活部)	なし

5 事業報告の付属明細書

「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する付属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」に該当すると思われる事項はありません。

Ⅱ－１．令和７年度事業の実施状況

昨今、国の「こども基本法」や「こども大綱」に基づき、北海道も「こども基本条例」、「こども計画」を令和７年３月に制定・策定し「こどもまんなか社会」の実現を目指すことを掲げました。

当協会もその趣旨を踏まえ、社会全体でこども・若者の成長を支える取組が全道で広がるよう、北海道や関係機関・団体等と緊密に連携し、地域の状況などを踏まえつつ、各種事業の推進に努めました。令和７年度における事業の実施状況は、次のとおりです。

１ 青少年育成住民運動の促進

運動を効果的に推進するため、全道に青少年育成運動推進指導員を配置し、地域関係者との合同会議を開催するなどして、こども・若者を応援・支援する活動についての共通理解を深め、関係団体の連携による地域ぐるみの運動の促進に努めた。

（１）北海道青少年育成運動推進指導員の配置

○ 定 員 238人

《配置の内訳》札幌市10人、旭川市・函館市は各３人、小樽市・苫小牧市・帯広市・釧路市は各２人、その他の市及び町村各１人
(総合)振興局(青少年指導員、青年代表)、教育局(社会教育主事)各１人

○ 活 動

- ア こども・若者を応援・支援する活動(地域行事・活動に参加)
- イ 地域団体等の事業を実施
- ウ 非行防止、環境浄化(巡回パトロールなど)
- エ 行政との連携(市町村行事等に参加)
- オ 当協会の事業推進(住民への情報提供等)

（２）青少年育成地域合同会議の開催（北海道との共催）

青少年育成運動推進指導員や市町村青少年行政担当者、青少年育成団体関係者等が出席して、(総合)振興局毎に道内14箇所で開催した。

○ 期 日 令和７年５月12日（月）～6月13日（金）

○ 参加者 約350名(総計)

○ 内 容

- ア 北海道の青少年育成施策の推進について
- イ 道内の少年非行の概況について
- ウ 教育行政に関する情報提供
- エ 当協会の令和７年度事業計画について
- オ 意見交換・情報交流など



▲管内関係者による地域合同会議
(石狩振興局)

（３）市町村民会議等の連携強化

地域の運動推進の中核である青少年育成市町村民会議等への啓発資材や機関誌等の配布により情報提供を行い、連携の強化や運動の支援を図った。

（４）青少年育成地域懇話会の開催

こども・若者に関する諸問題について、学識経験者と地域の活動指導者等による懇話

会を市町村民会議との共催で開催した。

選定したテーマに沿った講話と参加者による意見交換を通して、地域の現状や課題解決への取組等について、共通理解を深めた。

美幌町 [共催：美幌町青少年育成協議会]

- 期 日 令和7年7月14日(月)
- 場 所 美幌町民会館
- テーマ 「子どもの豊かな心を育てるために」
- 参加者 地元青少年育成関係者 41名
- 内 容

- ・講話：「子どもの可能性は無限大
～私たち大人にできること～」

講師：釧路工業高等専門学校 教授 三島 利紀 氏

- ・意見交流テーマ：「子どもの豊かな心を育てるために」
～学校・家庭・地域の連携～

- ・コーディネーター：北海道教育庁オホーツク教育局教育支援課
社会教育指導班社会教育主事 下町 佳孝 氏



▲参加者による意見交換・情報交流
(美幌町)

音更町 [共催：音更町地区青少年健全育成連絡協議会]

- 期 日 令和7年2月17日(月)
- 場 所 音更町生涯学習センター
- テーマ 「ネット・スマホ等のネットトラブルの対応や未然防止」
- 参加者 地元青少年育成関係者 54名
- 内 容

- ・講話：「発達期の子どもに与えるメディアの影響」
～今、起きていること 今からすべきこと～

講師：子どもとメディア北海道 インストラクター 工藤 美栄子 氏

- ・意見交流テーマ：「ネット社会に生きる子どもたちに
親や大人がどのように接したらよいか？」

- ・コーディネーター：北海道教育庁生涯学習推進局社会教育課
ネイパル足寄グループ社会教育主事 堀井 陽太 氏

2 青少年を社会全体で育成・支援する環境づくりの推進

こども・若者の成長を社会全体で応援する気運を醸成するため、北海道青少年育成大会などを開催し、こども・若者を取り巻く諸問題についての共通理解を深めた。

(1) 北海道青少年育成大会—こども・若者応援のつどいの開催（共催：北海道等）

全道の関係者が一堂に会し、活動功労者の表彰、基調講演、活動発表や「少年の主張」全道大会を行い、子ども・若者を応援・支援する活動の一層の推進をアピールした。

- 日 時 令和7年8月29日(金)
- 開催場所 道民活動センター（かでる2・7）かでるホール
- 参 加 者 約450名（関係者含む）
- 内 容

- ・令和7年度北海道社会貢献賞（青少年健全育成成功労者）表彰式

受賞者：畑 誠一 氏（札幌市）ほか13名

- ・令和7年度こども・若者応援顕彰表彰式

受賞者：14頁参照

- ・令和7年度「少年の主張」全道大会

審査結果発表及び表彰、最優秀賞及び優秀賞の発表
後援の「北海道コンサドーレ札幌」から副賞の贈呈
《最優秀賞》

受賞者：（根室代表）根室市立厚床小中学校

9年 横峰 桃子さん

テーマ：「私の挑戦 ふるさとを守るために」

- ・基調講演

演 題：「A I で高度化するS N Sを使った
犯罪から身を守る」

講 師：一般社団法人北海道 I T 推進協会
会長 入澤 拓也 氏

- ・活動発表

発表題：夏のおわりの小さな音楽会

発表者：札幌大谷大学音楽学科

- ・出 店

内 容：チャリティーふれあいミニマルシェ

出店者：学校法人八紘学園 北海道農業専門学校



▲「少年の主張」全道大会で
自分の想いを届けた発表



▲ふれあいミニマルシェを開催

また、運営等に大学生（北海学園大学、北海道文教大学、北翔大学）が協力し、司会進行やL I V E配信、写真撮影、座談会の進行など若者が中心となった大会となった。

さらに大会終了後には「少年の主張」全道大会各地区代表者の発表をホームページで公開し、広く情報発信した。

（2）青少年育成運動活性化研究協議会の開催

青少年育成運動推進指導員や青少年育成関係者、ボランティアの参集を得て開催した。

基調講演と3分科会を実施し、研究協議や意見交換等を行い、直面する諸問題や地域での活動事例について学び、指導者層の育成など今後の地域活動の充実・強化に役立てることができた。

○ 期 日 令和7年11月8日(土)

○ 場 所 道民活動センター(かでの2・7)大会議室ほか オンライン併用

○ 参加者 北海道青少年育成運動推進指導員、青少年育成関係機関・団体関係者、(総合)振興局・市町村関係職員、青少年補導員、更生保護関係者等 約120名

○ 内 容

- ・基調講演（オンライン併用）

演 題：こどもたちに体験活動を届ける一皆が共に育つ「共育」環境を広める一

講 師：N P O 法人こども共育サポートセンター 理事長 長江 孝 氏

- ・第1分科会

テーマ：「地域全体でこども・若者の学びや成長を支える」

話題提供者：函館市地域包括支援センターゆのかわ

課長 京谷 佳子 氏

コーディネーター：北海道教育庁石狩教育局教育支援課

社会教育主事 只野 浩太 氏

- ・第2分科会

テーマ：「多様な体験活動をこどもたちに届ける」

話題提供者：羅臼町子ども会育成協議会

事務局長 下柵棚 績 氏

コーディネーター：北海道教育庁後志教育局教育支援課

社会教育主事 谷口 武志 氏

- ・第3分科会（オンライン併用）

テーマ：「安心・安全なネット社会の輪を広げるために」

話題提供者：北海道IT推進協会 社会貢献委員会委員 馬場 俊光 氏



▲分科会での各グループ発表

（3）明るい家庭づくり道民運動の推進

様々な啓発資料等の配布、「家族ふれあい優待制度」の広報や絵画コンクールの実施などにより、平成12年度に制定した「道民家庭の日（毎月第3日曜日）」の普及啓発に努め、全ての道民がこども・若者を支え、育む社会環境づくりを進めた。

○「道民家庭の日」の普及啓発

- ・道民家庭の日のイメージキャラクター『ほーほーくん』が参加し、道と共催の街頭啓発を札幌駅コンコースで行った。（実施日：令和7年4月～8年3月の第3金曜日）

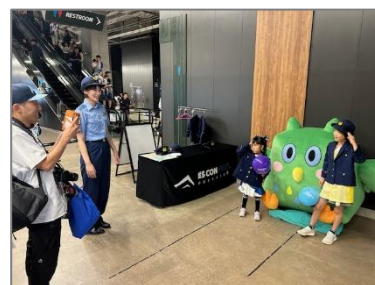
また、ミニほーほーくん（エアームいぐるみ）による児童写真会やエスコンフィールドHOKKAIDOでの啓発、さらにこどもたちの読書活動を進めるイベントに出向き、こどもや親子連れなどの来場者とほーほーくんがふれあうなど、啓発活動を行った。

（児童写真会：令和7年7月5日 場所：北海道開拓の村）

（地域PRブース：令和7年7月27日 場所：エスコンフィールドHOKKAIDO）

（ブックフェア：令和7年8月4日 場所：デ・アウネ さっぽろ）

- ・道内の市町村や小・中学校、児童館、関係機関・団体などに啓発リーフレット等を配付した他、各事業やイベント等で活用した。



▲ミニほーほーくんとふれあい
（エスコンフィールド HOKKAIDO）

○「家族ふれあい優待制度」の普及促進

「道民家庭の日」に料金の割引等のサービスを提供いただく、「家族ふれあい優待制度」の啓発資料の配付や各（総合）振興局、市町村、推進指導員からの情報提供、街頭啓発などPRに努めた。

《協賛店・施設》

ホテル・旅館、飲食店、博物館・水族館・美術館、テーマパーク、ボウリング場、スーパーマーケット・商店、キャンプ場等 計 250ヶ所（前年度 251ヶ所）

○「こどもまんなか」絵画コンクール2025の実施

新たにデジタル絵画部門を新設し、全道の小・中学校児童・生徒からの応募作品を審査し、36点の入選作品を決定して表彰するとともに入賞作品展を開催した。

また、キューピー(株)札幌支店及び一般社団法人北海道IT推進協会の協力により、出賞・副賞等の贈呈があった。【応募総数：338点／63校】

《最優秀賞》

小学生の部

受賞者：札幌市立資生館小学校6年 縄 乃々香 さん

題 名：「スイーツ大好き！」

中学生の部

受賞者：滝川市立立明苑中学校3年 禎島 瑠菜 さん

題 名：「家族みんなでエゾシカ駆除」



▲小学生の部 最優秀賞



▲中学生の部 最優秀賞

(以下、各部門毎に入選作品を決定)

- ・優秀賞 各1点
- ・特別賞（キューピー賞及びIT推進協会）各1点
- ・優良賞 各2点
- ・佳作 24点
- ・学校賞 6校

○ 絵画コンクール入賞作品展の開催

- ・札幌市民交流プラザ（SCARTSモール）

（実施日：令和7年11月1日 入場者数：約100名）

- ・札幌駅前通地下広場（チ・カ・ホ）

（実施日：令和8年1月12日 入場者数：約220名）

- ・（総合）振興局庁舎等での巡回展示

期 間：令和6年11月18日～令和7年2月28日

開催地：オホーツク、空知、十勝、渡島、上川、胆振

6（総合）振興局

- ・北海道新聞社が発行する「さっぽろ10区（トーク）」に「こどもまんなか」絵画コンクール2025入賞作品展（SCARTSモール）の開催予定を掲載した。



▲絵画コンクール入賞作品展の開催
（札幌市民交流プラザ・SCARTSモール）

（4）青少年を非行・被害から守る環境づくりの推進

7月の「青少年の非行防止道民総ぐるみ運動強調月間」（道）、11月の「秋のこどもまんなか月間」（国）の一環として、北海道、北海道警察、北海道教育委員会、“社会を明るくする運動”北海道推進委員会等と街頭啓発活動を実施した。

○ 街頭啓発活動

啓発資材としてポケットティッシュを各（総合）振興局に配付し、非行防止活動の推進に努めた。（配付部数） 10,000 個

また、関連事業と連動させながら、非行防止のための諸活動を推進した。

① 「夏・冬の暴力追放運動」街頭啓発の実施（共催 北海道暴力追放センター）

・日 時：令和7年7月～8月及び12月～令和8年1月 計4回

・実施場所：地下鉄駅前等（札幌市内）

② 飲酒・喫煙防止活動の促進

ホームページに飲酒や喫煙がもたらす健康の問題に関する情報を掲載し、20歳未満の飲酒・喫煙防止活動の一層の充実を図った。

③ 有害情報から青少年を守る活動の推進

北海道や学校関係者、情報通信企業などで構成する北海道青少年有害情報対策実行委員会に参加し、インターネットや携帯電話の利用による有害情報から青少年を守るための啓発活動を行った。

(5) 「こどもたちに読んでほしい200冊」の選定・推奨

こどもたちに優良図書情報を提供して読書を普及させるため、北海道学校図書館協会、北海道読書推進運動協議会の協力を得て、「こどもたちに読んでほしい200冊」を選定し、図書目録や啓発ポスターを作成して、全道の幼稚園や学校、図書館など関係機関に配付するとともに、ホームページに掲載するなど、良書の情報提供に努めた。

また、新たな取組として、こどもたちに本をプレゼントする、「どさんこ読書応援キャンペーン！」を実施し、全道から約1,800件の応募があり、約70冊の本をこどもたちに元に届けた。

本事業は、出版社47社に協賛いただき運営することができた。

（配付部数） ・令和7年度図書目録及び新選図書目録 各10,000部
・200冊啓発ポスター 3,000部

なお、「200冊」は、北海道学校図書館協会及び毎日新聞社が主催する、『読書感想画中央コンクール』の対象図書として紹介されたほか、北海道日本ハムファイターズが主催する「本を読んでファイターズを応援しよう！」の課題図書に推奨されている。



▲ポスターに起用した北海道札幌あいの里高等支援学校の生徒達

(6) 青少年育成関係団体懇談会の開催

こども・若者を取り巻く課題について理解するため、生成AIやSNSのトラブル・被害等についての講座を開催したほか、各関係団体・機関との情報交流等を行い、相互の活動の連携協力や今後の取組の効果的な推進についての共通理解を深めた。

○ 開催日時 令和8年2月12日(木) [オンライン開催]

○ 参加団体 8団体・4機関

○ 内 容

・講座：e-ネットキャラバン「e-ネット安心・安全講座Plus」

講師：一般社団法人北海道IT推進協会 社会貢献委員会委員 馬場 俊光 氏

・情報交流

(7) 広報啓発活動の推進

こども・若者を応援・支援する活動への理解と関心を高めるため、情報紙やポスターなどの配布やホームページ等を活用した広報活動を行った。

- ・ 各種事業の報告や関係機関等の活動内容などを掲載する情報紙「THE育む」を2回発行した。

(配布・メール送信数) 約2,000箇所(各回)

- ・ 「こどもまんなか」絵画コンクール入賞作品12点を掲載した2026年カレンダーを作成し、市町村、学校、関係団体等に配付した。
(配付部数) 3,900部
- ・ 各種大会や研修会など行事の案内や実施結果、各種交付金や絵画コンクール作品募集等の情報、出版物の電子版掲載などについて、ホームページやSNS(LINE)を活用し、幅広い層への情報発信に努めた。



▲情報紙「THE育む」の発行

○ 講師派遣の実施

市町村や関係団体等の要請を受けて研修会に専門指導員を派遣し、地域での課題等に係る講演を行い、課題解決に向けた取組の理解を深めた。

派遣先 [派遣回数：6回／総参加者191名]

- ・ 札幌市社会福祉協議会「子どもセミナー」
(札幌市／参加者30名)
- ・ 地域を見守る住民のつどい兼学校支援ボランティア研修会
(苫前町／参加者50名)
- ・ 手稲区青少年育成委員会連絡協議会基礎的研修
(札幌市／参加者70名)
- ・ 空知青少年育成運動推進指導員会研修会
(岩見沢市／参加者20名)
- ・ 釧路管内北海道青少年育成運動推進指導員及び
青少年行政担当者合同研修会
(鶴居村／参加者11名)
- ・ 後志管内青少年育成運動推進指導員協議会研修会
(倶知安町／参加者10名)



▲関係団体等の研修会における
講師派遣

3 青少年の主体的な社会参加・体験活動の促進

こども・若者が自立した個人として成長できるよう、地域における様々な体験活動を支援し、社会参加を促進した。

(1) 北海道青少年基金事業

こども・若者の体験活動やボランティア活動などの社会参加を促進するため、北海道青少年基金を活用して、交付金の交付や優れた活動を実施している団体等を顕彰した。

○ こども・若者応援交付金

こどもたちが参加する自主的な活動を行うグループ等を支援するため、交付金を交付した。

令和7年度交付団体数 37団体（交付総額 273万5千円）

○ こども・若者応援顕彰

優れた活動を展開する団体（個人）を顕彰し、事業の拡大等を支援するため、活動支援金を交付した。

[こども・若者の活動]

受賞者：団体の部・ふじゼミ

個人の部・福永 紗良さん（東神楽町）

[こども・若者への支援活動]

受賞者：個人の部・佐々木 勇貴さん（美幌町）

○ 基金の造成

北海道や自衛隊、市町村などの関係機関への協力要請、新成人記念募金、施設や交付団体事業における募金箱の設置依頼、当協会の行事で募金の呼び掛けを行った。

[令和7年度の基金造成実績] 募金実績額：96万2円

基金累計額：3億4,109万8,384円

(2) 北海道青年活動元気づくりプロジェクト事業の推進

若者が地域の担い手として自立・成長することを応援するため、「北海道青年活動元気づくりプロジェクト」事業を実施し、若者団体等が行う活動に対し、交付金を交付し支援したほか、地域活動の基盤づくりを進めるため、若者層等を対象としたセミナーを開催し、地域を越えた交流・連携を進めた。

「地域活動支援事業」交付金交付団体名・事業名

○ 団体名：一般社団法人いとのこ（函館市）

事業名：中高生の寄り道どころ「みちどこ」でのごはん会

○ 団体名：放課後企画ボンティ（紋別市）

事業名：第1回大会開催で「ラミィキューブ・モルック」を紋別地区の文化に！

○ 団体名：大空スポーツ・レクリエーション部（大空町）

事業名：モルックの町大空町へー大空町杯ー

[交付団体数：3団体（交付総額 30万円）]

「地域活動基盤づくり事業」（業務委託）

○ 受託者：特定非営利活動法人ezorock

業務内容：①全道の若者を対象とした「社会参加」、「地域活動」等を促す活動
②若者の社会参加や成長を応援するための課題やアプローチ等の分析
③地域で活動する若者や団体等の情報やニーズを把握

実施事業：オンライン関係人口フェスティバルRELATIONS FES2025



▲こどもの体験活動を支援する
こども・若者応援交付



▲モルックを使い地域交流図る
交付金事業

4 国や中央団体等との連携

関係機関・団体の事業を共催により実施するとともに、関係団体の事業に協力した。

(1) 表彰事業への協力

① 国（こども家庭庁）の表彰

若者が中心となって作成しているローカルマガジン「each（イーチ）」を発行している、「道南 each プロジェクト（函館市）」が、第3回「こどもまんなかアワード」の「こども・若者」部門の内閣府特命担当大臣表彰を受賞した。



② 全国青少年育成県民会議連合会の表彰

地域のこどもたちの成長を応援する活動や、長年の青少年育成活動が認められ、青少年育成運動推進指導員の野川 順子 氏（札幌市厚別区）が「青少年指導者等顕彰」を受賞した。



(2) 北海道 I T 推進協会と連携協定を締結

こども・若者の健やかな成長と、I T 活用による教育機会の充実などを目的として、一般社団法人北海道 I T 推進協会と連携・協力に関する協定を締結した。

(3) 読書を普及する活動への協力

北海道学校図書館協会及び毎日新聞社が主催する青少年読書感想文全道コンクール・北海道指定図書読書感想文コンクールに「協会長賞（2名）」を出賞し、青少年の読書の普及活動を支援した。

(4) その他

当協会への寄付金に対し感謝状を贈呈した。



井澤 貞登 様
(ジオテック 株式会社 代表取締役社長)



一般財団法人 北海道電気保安協会 様